

第1回松本市学校部活動の地域展開検討協議会 会議録

1 開催日時 令和8年7月1日（水） 午後2時00分から午後3時30分まで

2 場 所 松本市大手公民館 大会議室

3 出席委員 会 長 高山 智史 氏
副会長 横内 俊哉 氏
委 員 関 雅夫 氏
委 員 柄澤 深 氏
委 員 小嶋 和好 氏
委 員 本間 崇教 氏

（オブザーバー） 荒井 英治郎 松本市教育顧問

4 事務局 曾根原教育長、赤羽次長、山名教育監、清澤文化観光部長、武井スポーツ部長、廣田住民自治局長、小西教育政策課長、内山学校教育課長、野口生涯学習課長、村田安原地区地域づくりセンター長、武藤文化振興課長、百瀬スポーツ事業推進課長、小澤スポーツ施設整備課長、横山学校教育課施設担当課長補佐、堀金学校教育課長補佐、篠原学校教育課施設担当主査、幅部活動地域展開総括コーディネーター、百瀬部活動地域展開総括コーディネーター、藤田学校支援室指導主事、上嶋生涯学習課長補佐、寺社下生涯学習課主事、長坂文化振興課主事、西村スポーツ事業推進課長補佐、大野スポーツ事業推進課主任、内山スポーツ施設整備課長補佐、左治木スポーツ施設整備課係長、降籬教育政策課長補佐、大久保教育政策課主任、伊藤教育政策課主任

<会議事項>

(1) 令和8年度 部活動地域展開の推進方針について
小西教育政策課長が説明

(2) 令和8年度 部活動の地域クラブ活動への展開に係る課題への対応状況
降籬教育政策課長補佐が説明

(3) 部活動の地域展開に向けた中学校の実態及び課題について
百瀬総括コーディネーターが説明

(4) 令和8年度部活動加入状況調査結果について
幅総括コーディネーターが説明

（委 員） 今年度における1年生の部活動加入率の低下について、部活動に加入していない生徒のまつチャレ団体への加入状況は把握されているか。

(幅ＣＯ) 現状では、今年度におけるまつチャレなど地域クラブへの加入状況はわかりません。学校としても部活動未加入者の状況を詳細には把握できていないため、今後の調査で把握してまいります。

(委 員) 地域展開や地域クラブの詳細な状況、まつチャレが生徒の受け皿になっているのかについて、調査により確認ができると良いと思う。

(委 員) 部活動未加入者の中には、地域クラブなどにも入っていないという生徒がどの程度いるのか把握する必要があると考える。現在は地域展開の過渡期ではあるが、未加入率が高い状況について、部活動以外の多様な選択肢の中から自分のやりたいことを選択できているのか、部活動が終了していき、部活動以外にも選択肢が無い状況なのか、分析した上で現状を把握していただきたい。

(5) 地域クラブマネジメント業務報告

シンコースポーツ(株)腰原氏が説明

(6) 地域クラブポータルサイト構築業務報告

A S F E E L(株)興津氏が説明

(委 員) シンコースポーツとA S F E E Lの間で、クラブに関する情報共有や連携は取られているか。

(腰原氏) クラブからのサイトに関する質問について、市とA S F E E L様と相談・調整して回答させていただきます。今後も情報共有をしながら業務を進めてまいります。

(興津氏) シンコースポーツ様で対応された問合せ内容を集計し、WEBページのコンテンツを充実するなどの連携を図ってまいります。

(委 員) ポータルサイトでの体験会情報の掲載機能は良いと思う。そういった機能がすべてのクラブへ徹底して周知されるよう、連携して取り組まれない。

(7) 運動系部活動の地域展開の状況及び今年度の取組みについて

百瀬スポーツ事業推進課長が説明

(8) 文化系クラブの地域展開の進捗状況及び今後の対応について

清澤文化振興課長が説明

(委 員) 吹奏楽の地域クラブの設立状況について、信州大学附属中学校、鎌田中学校の状況を承知していれば教えてほしい。

(幅ＣＯ) 信州大学附属中学校も、市立ではありませんが地域展開を予定し1年生の募集を停止していること、保護者が地域クラブの設立を検討しており、楽器がない、練習に学校施設が使えるのかといった課題があると承知しています。鎌田中学校は、地域クラブ化の動きは以前からあるものの、まつチャレへの登録の予定は未定と承知しています。

(9) 部活動の地域展開に伴う公民館サークル等の受入れ体制について

野口生涯学習課長が説明

(委 員) まつチャレ団体などにも関わることだが、まつチャレ、まつチャレ以外の地域クラブ、公民館サークルと選択肢が膨大となることで、利用する側の子どもや家庭にとって、情報選択・意思決定の負担が大きいのではないか。すべての子どもが能動的に取捨選択することができるのかと懸念している。探しやすい動線づくり、効果的な周知について、どのように考えているか。

(曾根原教育長) 現状は、市に寄せられる多種多様な意見・要望に応じられるよう、松本市ではこんな選択肢があるということを発信している状況です。

(委 員) 子どもが多種多様な情報の中から、自分が考える中学生期の生活に適した活動を主体的に選択できる時代が来ていると思うので、情報は多ければ多いほど良いと思う。その中で、子どもや家庭に身近なところで情報を提供できるのは、行政ではなく学校、教育現場であると考えます。子どもたちが自分の活動をデザインする手助けとなるよう、行政は情報を分かりやすく集約して学校現場に落とし込み、学校、先生方が子どもに情報提供をするという仕組みが良いと思う。先生方の負担にはなるが、部活動を地域に展開する代わりに、この部分は協力しながら取組んでほしいという姿勢で進めていくのが良いと思う。

(曾根原教育長) 学校で地域クラブ等の説明会を開催して団体を紹介する際に、行政が地域クラブに呼びかけ、参加希望を取りまとめて実施することを予定しています。また、その中のコーナーとして、公民館活動などの情報も紹介することを考えています。行政側で資料などを準備し、学校ではそれを提供してもらうという仕組みであれば、学校現場としてはあまり負担なく協力していただけますでしょうか。

(委 員) そのような仕組みであれば、学校でも対応できると私は思う。

(委 員) 校長会でも、毎回地域展開に関する様々な課題が議題に挙がる中で、行政だけでなく学校も一緒に協力して地域展開していくという趣旨を確認しながら、来年度以降も学校ができる限りのことを協力していくということで進めている。説明会について、松島中学校やこれから実施が予定されている事例の様子を見ながら、各校で子どもたちのために何をすればよいか、責任をもって議論していかなければならないと考えている。

(曾根原教育長) 数年後には、クラブ等の情報の提供の方法は変わっていくものと考えていますが、今は地域への展開の過渡期ということで、子どもや家庭に対して、行政・学校が連携してしっかりと情報を提供してまいります。

(10) 部活動の地域展開に伴う令和8年度実証事業の実施について

内山学校教育課長が説明

(11) 部活動の地域展開におけるクラブ認定の取扱いについて（協議事項）

降籬教育政策課長補佐が説明

（委 員） 現状での対応として、市の方針は妥当ではないかと思う。大会に出場するのに行政の認定を受けなければいけないというのは理屈が通らないと個人的には思う。国の認定制度も今後どうなるか分からない中で、適切な対応であると思う。個人的には、国の認定制度というのであれば、松本市でなく国が認定をするべきであると思う。

（委員長） 本事項について、承認することと集約します。

(12) 荒井オブザーバーからの意見

日本版DBSの施行を控え、本学では学生の教育実習における対応の整理が始まっている。地域クラブ、まつチャレは、犯罪事実確認（性犯罪歴の照会）の対象業務の3要件を満たす可能性が極めて高いと推察されるため、他自治体の動向も注視しつつ、仕組みを整えていく必要がある。また、危機管理の観点から、万が一地域クラブで事案が発生した場合に、行政、教育委員会としての対応を予め想定しておく必要があると考える。

（閉 会）